

色とりどりの晴れ着からよろい鎧に装いを変え
楊家三代にわたる嫁姑たちは武将となって出陣する

◆あらすじ◆

北宋、仁宗皇帝の時代。
遼、西夏など周辺国の度重なる侵略のため、武門の誉れ高い楊家一族は勇猛な武将らを戦死や捕虜などで失い、残された遺族は女性ばかりとなっていました。

楊家では、戦場に向いている元帥・楊宗保の五十歳の誕生日を祝い、ひととき華やいでおりました。祖母・余太君をはじめ、母・柴郡主と妻・穆桂英、叔母・楊七娘たちが集い、息子の楊文広も顔を見せませす。

その宴席に、戦場からの使者・孟、焦両將軍がやってきて宗保殉国を報じました。祝いの宴が一変し、楊一族は悲しみに暮れるのでした。

仁宗が葬式に列席し今後の国の方針を論議します。大臣・王輝は和睦を主張し、大臣・寇準は戦闘を主張、余太君と穆桂英は従軍出征を志願しました。

仁宗は当年百歳となる余太君を元帥に起用し、先陣の將軍を穆桂英に命じたのでした。そして、楊文広も少年將軍として威風堂々と参戦し、楊家一族の女性將軍が揃って出陣します。

西夏王・王文は女と子供のみ弱な集団だと高くくくり、勢いに押されて大敗を喫します。そこで王文は詭計をめぐらし楊文広を誘い出すのですが、余太君はその裏をかいいて穆桂英母子を葫蘆谷に入らせ、棧道を探し出し、敵軍を挟み撃ちにしようとして

ます。

知力、武力を総動員して立ち向かう、楊家の女性將軍たちの運命やいかに…。

穆桂英役
ワン イエン
王 艶
(国家一级俳優)

余太君役
ウェイ ユー フィ
魏 玉慧

楊文広役
ワン イー
王 一

楊七娘役
シュー ベイ ウェン
許 佩文

京劇

楊門女將

2017

日中国交正常化45周年記念

天津京劇院日本公演

天津京劇院紹介

1956年に成立した天津京劇院は、中国国家重点京劇院団であり国家無形文化遺産の保護機関でもある。現在、一団と実験団、元声京劇坊工作室(京劇元来のマイクを使わない上演形式を創作)という構成。

天津京劇院には中国戯劇梅花賞受賞者9名、梅蘭芳金賞受賞者3名が所属しており、これまで創作した演目は輝かしい実績を残している。現代京劇《華子良》は文化部第二回保存演目大賞、文化部第十回「文華大賞」を受賞。《護国將軍》は第五回中国京劇芸術節金賞を、《媽祖》(主演:王艶)は中央宣伝部第十回精神文明建設「五つのプロジェクト」優秀作品賞を、《香蓮案》は第六回中国京劇芸術節一等賞を受賞し、国家舞台芸術優秀演目プロジェクトの支援演目に選ばれ、第十四回文華賞優秀演目賞を受賞した。2014年、新編京劇《康熙大帝》は第七回中国京劇芸術節で好評を博し、整理加工演目(伝統演目のリニューアル版)《乾坤福寿鏡》(主演:王艶)は国家芸術基金2015年度支援演目に選ばれた。

天津京劇院の若手俳優とベテラン俳優は、その確かな実力とバラエティに富んだ演目で、アメリカ、フランス、イギリス、イタリア、スペイン、スイス、コロンビア、メキシコ、韓国、日本や香港、マカオ、台湾など、十数の国家と地域で公演し、交流公演や商業公演の任務を果たし、幅広い観客の賞賛を浴びた。これによって、中国の優秀な民族文化の伝達や普及、中国と海外との交流の拡大、友好関係の増進、兩岸関係の改善に重要な貢献をも果たしている。

※予告なしに出演者に変更がある場合がございますので、あらかじめご了承ください。

- 東京公演● 6月21日(水)～29日(木) 東京芸術劇場プレイハウス JR・東京メトロ・東武東上線・西武池袋線 池袋駅(西口より徒歩2分、駅地下通路2b出口と直結)
- 大阪公演● 6月30日(金) NHK大阪ホール 地下鉄谷町線「谷町四丁目」駅(2号出口より徒歩3分)、地下鉄中央線「谷町四丁目」駅(9号出口よりすぐ)
- 名古屋公演● 7月2日(日) 愛知県芸術劇場 大ホール 地下鉄東山線・名城線「栄」駅(徒歩3分)、名鉄瀬戸線「栄町」駅(徒歩2分)